

ふーはー

(一財)鳥取県労協

第321号

題字 柴山抱海書



「協同労働とは?～地域づくりに協同労働ができること～」をテーマに研修会を開催

12月2日(土)、鳥取市「白兎会館」に於いて2023年度鳥取県労協研修会を開催しました。協同労働について、鳥取大学地域学部地域創造コース 講師/社会学博士の菰田レヒ先生にご講演いただきました。



年頭あいさつ

一般財団法人鳥取県労働者福祉協議会

理事長 本川 博孝

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、新しい年を健やかに迎えにいられたこととお慶び申し上げます。

日頃より、鳥取県労協運動に對しまして、ご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。

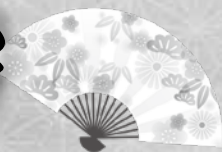
昨年は、新型コロナウイルス感染症が法律上5類へと移行し、コロナ禍からポストコロナへの変化を感じる一年となりました。皆様の暮らしにも様々な変化があった事と思います。そして新年を迎え、暮らしの満足度アップに向け仕事や趣味、そして家族のことなど様々な事に挑戦され、幸せな年になりますようご祈念申し上げます。

労協協の理念である「福祉はひとつ」を踏まえ、人と人とのつながりが大切にされ、平和で安心して働き暮らせる社会の実現に向け、勤労者福祉に関わる8事業（広報誌発行、労働者福祉に関わる調査・研究、研修会、勤労者美術展の実施、囲碁・将棋大会の実施、スポーツ祭典の実施、労協協祭りの実施、児童・福祉施設に関わる事業）を基本に、社会的連帯活動として、「ライフサポートセンター」での生活総合支援、「労働相談所みなくる」での労働・雇用環境の改善に向けた活動など、関係団体と連携して様々な取り組みを進めていきます。

お互いが信頼しあい、相手を認め、目先の便利さや快楽追及が優先することなく、子どもたちの将来の生活環境を豊かなものにしていくために力を注いでいきます。引き続き、みなさんと一緒に全力で活動していくことをお誓い申し上げます。



新年ご挨拶



日本労働組合総連合会鳥取県連合会

会長 山口 一樹

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、ご家族そろって良い年を迎えられたこととお慶びを申し上げます。

日頃より連合鳥取の運動に対する、ご理解・ご協力に心より感謝申し上げます。昨年11月16日の第31回連合鳥取定期大会で新しく会長に選任されました山口一樹と申します。

昨年も、全国各地での風水害、県内では台風7号による被害が多く発生しました。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに早い復旧を祈念いたします。

新型コロナウイルス感染症には4年前から対策に苦勞してきましたが、昨年5月に感染症法上の位置づけが5類に変更され、社会・経済は様々な状況を抱えながらもコロナ禍の先へと向かって動いています。

また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻やイスラエルによるハマス攻撃も多くの子どもを含む民間人が犠牲となり終わりが見えません。

軍事侵攻は国際平和に対する暴挙であり、最大の人権侵害であります。

一日も早く停戦を求め、平和な日常が戻ることを願います。

今後も労働者福祉事業団体がさらに連携して、労働者が生活しやすい環境を目指して邁進していかなければなりません。

連合鳥取は今後も鳥取県内雇用労働者の代表として、「必ずそばにいる存在」となるべく運動を展開していきたいと思っています。



中国労働金庫北部工リア営業本部

本部長 仲田 敏幸

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、新しい年を健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は、労福協に集う皆さまの中国労働金庫に対するご理解とご協力のおかげで統合20周年を迎えることができました。役職員一同、心より感謝いたします。

さて、2024年度、中国労働金庫は、第8期中期経営計画を新たにスタートさせます。第8中計では、第7期をしっかり振り返りつつ、新たな基本方針や個別方針、目ざす方向性を会員の皆さまと討議しながら確立させ、会員・構成員とご家族へのお役立ちを実現してまいります。

また、中国労働金庫は、SDGsの方針に則り、「誰ひとり取り残さない」「働く仲間を金融弱者にしない」ために「金融包摂」を実践してまいりますので、より一層のご支援をお願いいたします。

本年が、皆さまにとってより良い年となりますようお祈り申し上げます。



こくみん共済 coop 鳥取推進本部

本部長 松崎 浩哉

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、こくみん共済coopの運動に対しまして、特段のご理解とご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

さて、2024年は全労済運動の根幹となる「火災共済」が誕生して70年の節目の年となります。この機会に組合員の皆様とともに、労働者自主福祉運動の意義について学び直したいと考えています。

また、昨年には「こくみん共済」発売40周年を迎えました。1月20日にはとりぎん文化会館において組合員感謝イベントのミュージカルを計画しています。今回はSDGsの「誰一人取り残さない」取り組みとして、鳥取県では初の『舞台手話通訳付き公演』を行いますので、聴覚に障害のある方にも楽しんでいただけるようにしています。奮ってご参加いただきたいと思います。

結びになりますが、2024年が皆様にとって明るく、実り多い1年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



鳥取県生活協同組合

代表理事 理事長 井上 約

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新しい年を健やかに迎えられたことと謹んでお慶び申し上げます。旧年中は、弊組の事業や活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

弊組は昨年「SDGsアジェンダ(2030年へ向けての行動指針)」を策定しました。それまでの福祉政策やSDGs行動宣言などを少し整理し、2030年の「SDGs持続可能な開発目標」の達成へ向けて特に「福祉」「エシカル」「環境」「平和」などの分野でさらに取り組みを強めていくことを目指した内容となっています。

鳥取県内には様々に暮らしや地域での困りごとを解決したり支えたりする地域福祉ネットワークが広がっています。それらネットワークまた、鳥取県労働者福祉協議会の活動にも積極的に参加しながら組合員や県民の皆様の暮らしの中での安心・安全を提供するための事業や活動に取り組んでまいりたいと思います。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



鳥取医療生活協同組合

組合長理事 竹内 勤

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は鳥取医療生協の活動にご理解、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて昨年は、ウクライナの戦争に終わりが見えない中、10月7日にはハマスの奇襲攻撃に端を発したイスラエルによるガザへの報復攻撃などパレスチナでの戦争が勃発しました。多数の死傷者が出て、ジェノサイドともいえる状況を呈していることを危惧します。

私たちが取り組んでいる医療・介護の仕事は、戦争とは対極に位置し、平和の中でしか実現できないと考えます。即時停戦を心から願うものです。

国民生活においては、円安、物価高騰が続き国民生活が疲弊しており、1回限りの所得税減税ではなく消費税減税が最も有効な対策ではないかと考えます。

約3年超に及んだコロナ禍も、昨年5月8日から感染法上の2類相当から5類に移行し、ようやくコロナ禍以前の日常を取り戻しつつありますが、今後とも感染対策は重要です。

鳥取医療生協は昨年、消費生活協同組合法制定75周年記念の厚生労働大臣表彰を受けました。大変名誉なことであり、本年も国民のいのちと暮らしを守るため、事業を通じて奮闘して行きたいと考えます。

皆さまにとって良き年になるよう祈念して、新年のごあいさついたします。



鳥取県労働者福祉協議会東部支部

支部長 中村 敦司

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが変わったことにより、東部支部の様々な活動を展開することができ、その活動に対するご理解とご協力を賜りましたことに、衷心より厚く御礼申し上げます。

とは言え、新型コロナ感染症の影響により様々な活動が中断したことで、昨年の活動は手探り状態というものもあったのではないかと考えております。

そのようなことと思います時、今年は仕切り直しの時と考え、労働者福祉協議会が、原点・創業の精神である「福祉はひとつ」、労働組合と労働者福祉事業団体が、組織の枠を超えて、福祉の充実と生活向上を目指す団体であり、「その認知度の向上と組合員への浸透」、「みんなで参加する事業と運動」、「共助の輪の拡大」につながる活動を、今年は展開できたと考えているところであります。

本一年が、労働福祉事業団体と労働組合が「ともに運動する」ことにより、共助の輪が広がる活動となること、そして皆様にとって素晴らしい一年となることを祈念し、新年の挨拶いたします。



鳥取県労働者福祉協議会中部支部

支部長 竹内 和也

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。昨年より中部支部長を仰せつかり、至らぬ点多々あったかと存じますが、皆さまの多大なるご支援・ご協力により無事2024年を迎えることができること、大変感謝しております。

2023年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、4年ぶりに労働者スポーツの祭典並びに中部労福協まつりが開催されました。多くの組合員やそのご家族にご参加いただき、皆さんの笑顔やにぎわう姿を見て、新型コロナウイルス感染症の終息を感じたところです。今後も連帯・共同で安心・共生の福祉社会の実現に向け、活動を継続していききたいと思います。

結びとなりますが、皆さまにとって2024年が、幸多き年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



鳥取県労働者福祉協議会西部支部

支部長 内田 浩文

新年あけましておめでとうございます。

旧年中の格別のご高配、厚く御礼申し上げます。

昨年、一匹の子猫を飼い始めました。私は猫が苦手でした。毛は抜け、鳴き声はうるさく、平気で土足するからです。しかし、実際に一緒にいると、そのしぐさに心が癒されるのを感じました。今では、帰宅すると真っ先に猫の姿を探すほどになっています。餌やおやつ準備をするとか、トイレをきれいにするなどの手間はかかりますが、今の私の生活になくはならないものになっています。

労福協も、私たちの幸せや豊かな生活のために、なくてはならないものだと思います。昨年は労福協まつりを開催できました。雪がちらつく空模様でしたが、多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。人と人との繋がりの大切さを再確認できました。

本年も、ともに手を携えて支え合い、実り豊かで幸せ一杯の、ステキな一年になるようご祈念申し上げ、新年の挨拶いたします。

目 次

新年ご挨拶	P2~P3
ろうきん・こくみん共済coopからのお知らせ	P4~P5
東部支部「第19回労福協まつり」開催	P6
特定（産業別）最低賃金	P6
西部支部「第20回労福協まつり」開催	P7
第34回囲碁・将棋大会開催のご案内	P7
西部労福協第41回研究集会の開催	P8
中央労福協第66回定期総会Hybrid開催	P8



R ろうきん

ろうきん
アンバサダー
高梨 麗

あけまして
おめでとうございます

本年もよろしくお願い申し上げます

二〇二四年 元日

はたらくあなたの
いちばんそばに。

こくみん共済 NEWS

組合員の皆さまの
声にお応えして
2024年4月*
リニューアル!

住まいる共済

火災共済・自然災害共済
風水害等付加型火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

風水害への保障が 手厚くなります!

風水害等が多発化・大規模化するなか、引き続き、確かな保障をお届けするため、このたび商品改定を行います。これまで組合員の皆さまよりお寄せいただいたご要望にお応えし、より一層ご安心いただける保障としてお届けいたします。

組合員の皆さまの声を反映した 主な改定ポイント

01

共済金額を分かりやすく

風水害等の損害への
お支払いは「実損害額に
もとづき算出」します

住宅・家財ごとに、実際に被害にあった金額にもとづくお支払いとなるため、お受け取りの共済金額が分かりやすいものになります。

※住宅・家財ごとに契約されている共済金額（契約額）を上回るお支払いはできません。

02

支払要件の緩和

10万円以下の損害も
風水害等共済金の
支払対象に

大きな損害だけではなく、小規模な損害に対しても保障できるようになります。

例【このような損害も保障】

台風による強風で窓ガラスやアンテナが破損してしまった。

03

保障内容の見直し

付属建物等の被害も、
一律保障から
実損害額保障へ

付属建物等の風水害等にかかわる損害に対しても、風水害等共済金の対象としてお支払いします。

付属建物等とは 物置、納屋、車庫、門、塀、垣、カーポートなど

※住宅のご契約内容によって金額に上限があります。

その他の改定

自然災害共済のタイプ名称変更

「大型タイプ」▶▶▶「ベーシック」 「標準タイプ」▶▶▶「エコノミー」

自然災害共済ベーシックの 保障拡大

ベーシックの1口あたりの支払共済金額を引き上げ、風水害等共済金の支払限度額を最高6,000万円までに拡大します。

※火災共済との合計額

最高保障額がアップ!
旧 4,500万円 新 6,000万円
大型タイプ ベーシック

将来起こり得る大規模災害に備え、自然災害共済の総支払限度額を引き上げます。

風水害等および地震等への総支払限度額を2024年4月から2025年4月にかけて段階的に引き上げ、より一層大きな安心をお届けしてまいります。

※総支払限度額とは、1回の風水害等または地震等による、自然災害共済実施生協全体がお支払いできる共済金（総額）の上限です。

公式キャラクター
ビットくん

さらに

労福協東部支部 「第19回労福協まつり」を開催しました！



11月11日(土)、4年ぶり(コロナ禍で中止)に会場での開催、労福協東部支部第19回労福協まつり「チュウブ鳥取砂丘こどもの国であそぼう！」をコンセプトとし、また、こどもの国開園50周年とコラボレーションし開催しました。当日は天候不順で雪は降りませんでしたが、風雨で寒い中、役員も含め、大人150人・子ども140人。300人が来園し、労福協まつりを楽しんでいただきました。

労福協の活動を構成組織組合員・家族や地域社会に紹介するとともに労働者の福祉向上とワーク・ライフバランスの推進や関連する事業団体、福祉団体、NPO等との連携を含めた集いのイベントとして「労福協まつり」を開催し、地域住民に労福協の存在や活動をアピールする場としています。



今回のイベントとして、鳥取大学バルーンアート&ジャグリングサークルのパフォーマンスを園内の多目的広場で企画し、午前・午後と2回開催しました。子どもたちに大変好評で、パフォーマンス終了後バルーンアートのプレゼントをしたところ行列ができるほど子どもたちに喜こんでいただきました。



また、福祉作業所販売コーナーを設置し、伏野つばさ園さんに出店願い、来園者の皆さんが購入されました。来園者先着600人に福祉施設nononaさんの焼き菓子を準備しましたが、来園者が300人でありましたので、11月15日に「とっとり子どもの居場所ネットワーク・えんたく」を通じ県内の子ども食堂へ寄付しました。その後中部の「子ども食堂」からお礼の言葉が寄せられました。労福協の周知・広報ができ、なおかつ福利厚生にもつながる労福協まつりとなりました。

最後に、今回ご協力いただいた関係者・業者の皆様に、誌面からではありますが厚く感謝したいと思います。

特定(産業別)最低賃金が改正されました

●鳥取県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金

時間額 **906円** (発効年月日 令和5年12月17日)

●鳥取県各種商品小売業最低賃金

時間額 **902円** (発効年月日 令和5年12月15日)

(「鳥取県最低賃金」は令和5年10月5日から時間額900円に改正)

詳しくは、**鳥取労働局労働基準部賃金室** (0857-29-1705)
又は最寄りの**労働基準監督署**へお尋ねください。

労福協西部支部 「第20回労福協(社会貢献)まつり」開催



今年も社会貢献を挙げ、「共生社会の実現」をテーマに障がい福祉作業所の協力のもと、オープンして1年4ヶ月ほどの新しい施設、境港市民交流センターみなとテラスで11月18日(土)に開催しました。

当日は、雨や風が吹き荒れる厳しい天候で来ていただけるか心配していましたが、開始と同時に子どもたちが「子ども縁日」に駆け込み、ストラックアウト、うまい棒つかみ取りに夢中になっていました。また物販コーナーでは、開催時間中に売り切れてしまった商品もあり、福祉作業所の方たちからはうれしい悲鳴(?)もいただきました。

そしてワークショップでは、親子で行う「お花の寄せ植え」が人気で、用意していたお花がすべて鉢植えされて持ち帰っていただきました。恒例の献血コーナーでは、構成組織から100人ほどの多くの方が来られたことに對し、みなさまのご協力に感謝申し上げます。

今年は室内のみで、屋外がないためいつもより狭い範囲で開催しましたが、障がい福祉作業所による来場者プレゼント作成・物販、ワークショップ開催でのご協力のもと、子どもとともに多くの方に来場いただき、まつりを終えることができました。

引き続き、今後も「共生社会の実現」をめざして活動に取り組むこととします。



鳥取県労福協 第34回 囲碁・将棋大会を開催します!

**参加費
無料**

☆みなさんのご参加お待ちしております!!



第33回大会の様子(3年ぶりに開催しました!)

開催日時 2024年2月11日(日・祝) 受付10時

開催場所 「まなびタウンとうはく」

東伯郡琴浦町徳万266-5(浦安駅東隣)

参加資格 県内勤労者の団体(労働組合・企業単位及び事業団体等)で、原則としてアマチュアであること、OBの参加も可能です。

※ホームページから申込書がプリントアウトできます。





西部労福協

第41回研究集会の開催

「西部労福協 第41回研究集会」が2023年11月9日(木)～10日(金)に徳島県で開催されました。鳥取県労福協からは4名が出席しました。今回のテーマは「支え合い・助け合いで持続可能な地域共生社会を！」とし、初日は以下の講演を受講しました。

① 「防災意識と災害ボランティア活動の重要性について」

NPO法人 災害救援ボランティアVネットおかやま理事長 有元 純一さん

② 「賀川豊彦と連帯社会～分断を乗り越える」

法政大学大学院公共政策研究科教授 賀川豊彦学校長 伊丹 謙太郎さん

翌日は鳴門市の「賀川豊彦記念館」を見学しました。賀川豊彦の提唱した友愛・互助・平和の精神は今なお混迷の現代社会に訴えかける力を持ち、21世紀を導く指導理念だと学ぶことができました。

中央労福協

第66回定期総会 Hybird開催



2023年11月22日(水)に「中央労福協第66回定期総会」が開催されました。本会議はHybird開催とし、206名の代議員(会場出席者85名、Web出席72名、委任49名)が出席しました。審議議案では、2022～2023年度活動報告、2023年度会計決算報告・同会計監査報告、2024～2025年度活動方針および2024年度予算の議案などが承認されました。

また、役員改選では芳野会長、南部事務局長の再任をはじめ14名の役員が選出されました。